

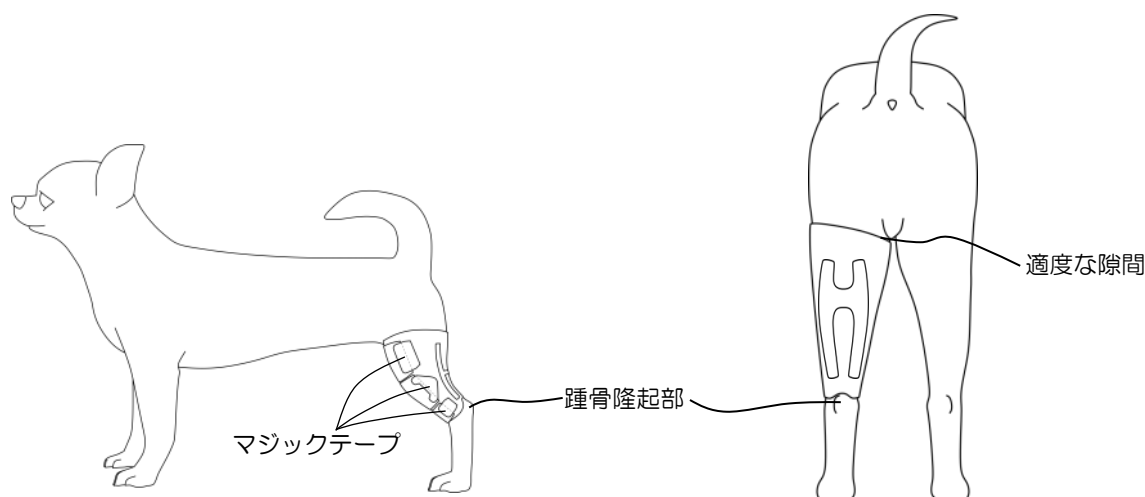
概要

ACL BRACEは、アメリカで犬に多く作製されている前十字靱帯用の装具をヒントに、飛節部の前面と後面（踵）に装具が引っ掛かることで、下方にずり落ちることを防止した構造になっています。

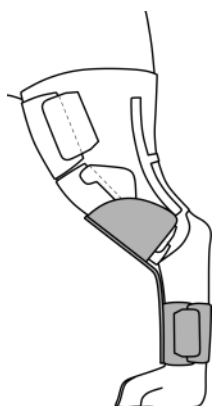
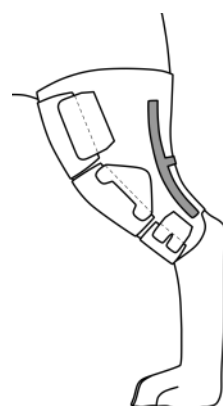
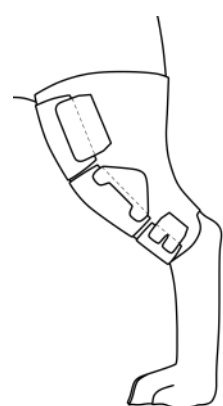
また、膝関節の後ろには「後方スプリント」が設置され、膝の屈曲制限または伸展補助を行うことができます。

さらに足根関節の前面には「前方スプリント」が設置され、足根関節の運動制限を行い、膝関節の安静補助や歩行の安定化を行うことができ、また膝装具のずれ防止にもなります。

小型犬用6のサイズと、マジックテープによる自由な締め具合、装具の上縁をハサミで切れる構造にするなど様々な体型にフィッティングできるよう工夫された商品です。



3種の使い分け

強い固定	やや強い固定	弱い固定
 【前・後スプリントの装着】 前方スプリントによって、足根関節の運動制限を行い、より強い膝関節の安定化をねらいます。 また、膝関節も後方スプリントによって、運動制限を行います。	 【後方スプリントのみの装着】 膝関節の後ろに後方スプリントを装着することで運動制限を行います。	 【スプリントなし】 スプリント材を付けず、本体の生地のみでソフトな運動制限を行います。 （体重が大きくなるに従って、生地のみでは固定ができなくなりますので、体重の軽いNo.1～5程度の推奨となります。）

右足の設定を左足の設定に変更する

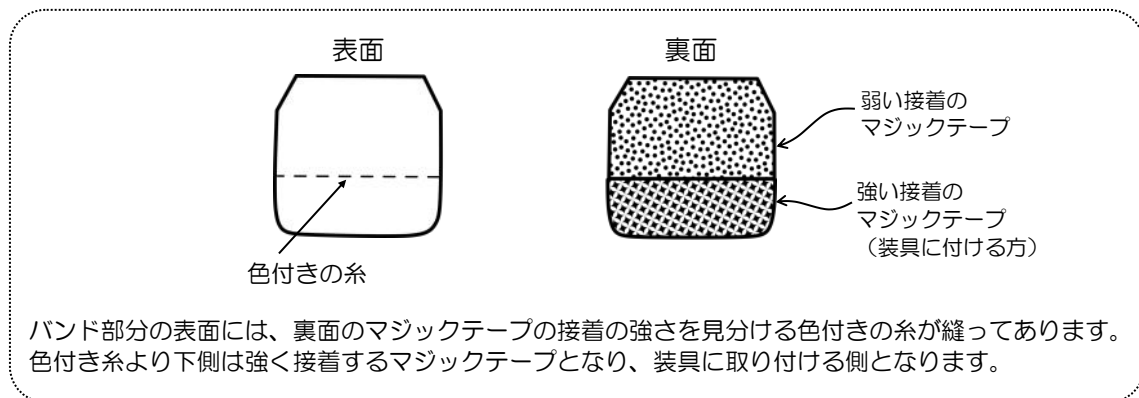
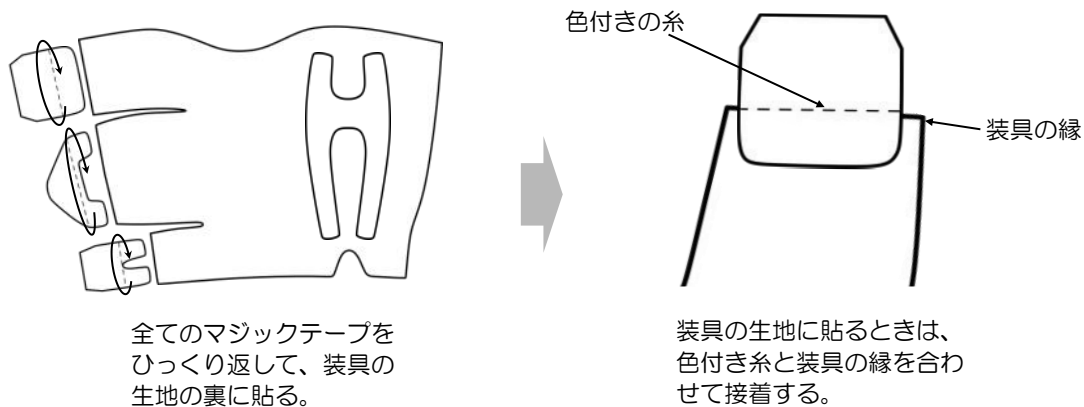
この装具はリバーシブルになる構造で、左右兼用に使えます。

製品出荷の時点では、装具は右足用の設定になっているため、左足の動物に装着する場合は左足用にする設定が必要です。

1. 装具のバンド部分を外すしてひっくり返す。

装具のバンド部分は、本体の生地から外すことができます。

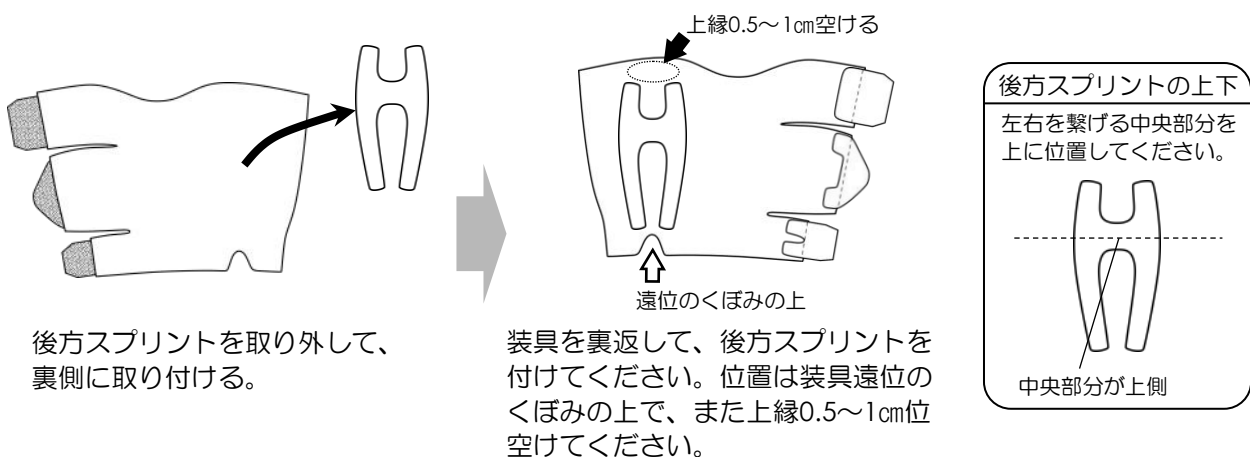
マジックテープの裏表をひっくり返して取り付け、ひっくり返して装具本体と接着することで左右が変更されます。



2. 後方スプリントを外して、生地裏側に装着する。

後方スプリントもマジックテープによって生地に接着しているため、取り外して本体の生地の裏側に装着します。図のように本体生地の装具遠位のくぼみ部分の約1cm上に取り付けて下さい。

後方スプリントには上下があるため図のように取り付けてください。



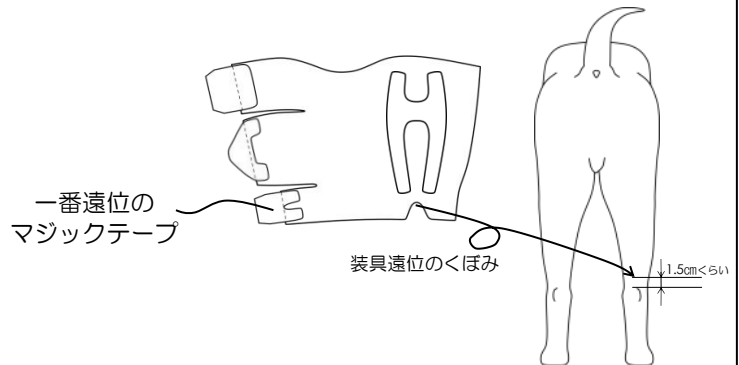
装着方法

1. 踵骨隆起部に合わせて装着する

装具のマジックテープを全て外し、装具を足に巻き付けます。

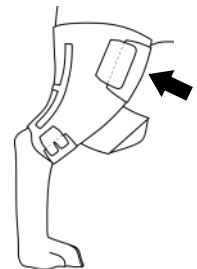
装具を踵骨隆起部に引っ掛けるため、装具遠位のくぼみ部分と踵を合わせて、マジックテープの一番遠位をしっかりと留めます。このマジックテープを緩く留めると、すぐにずり落ちてしまいます。

装具遠位のくぼみを犬の踵に合わせて、一番遠位のマジックテープを留めます。この際のポイントは、踵骨隆起部より1.5cm近位に装具を合わせてください。



2. 最も近位のマジックテープを留める

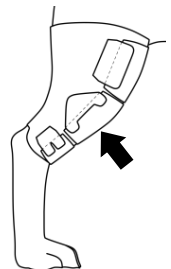
最も遠位のマジックテープを留めた後は、最も近位のマジックテープを留めます。ブカブカにしないように意識して下さい。



3. 上から2番目のマジックテープを留める

2番目のマジックテープを留めた後に、膝の辺りの生地を上からつまんでみて、緩く留めていないか確認して下さい。

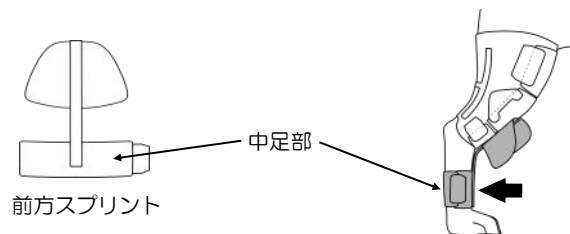
緩い場合は再度留め直して、さらに最も近位のマジックテープも緩くないかチェックしてください。



4. 前方スプリントの中足部を留める

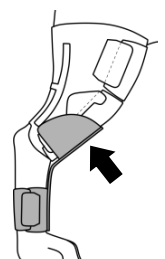
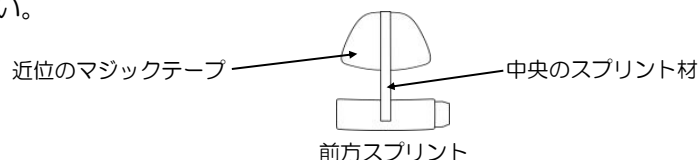
前方スプリントの中足部を、動物の中足部に留めて下さい。

また、前方スプリントの中足部は、動物の中足部に対して出来るだけ近位に留めて下さい。



5. 前方スプリントと膝部本体を連結する

前方スプリントの近位に位置するマジックテープと、中央のスプリント材が入っている中央部があります。中央のスプリント材が膝の真正面に位置するようにマジックテープを留めて下さい。



調整方法

1. 装具を装着する

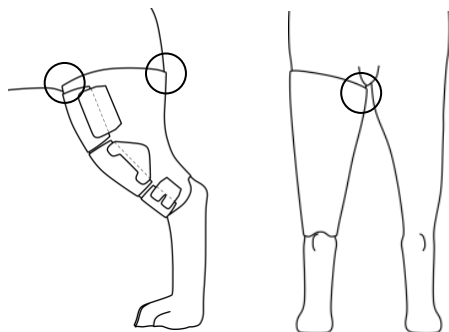
一旦、製品を装着し、足に対して装具の長さを確認します。

2. 装具の近位が長すぎる場合はハサミでカットする

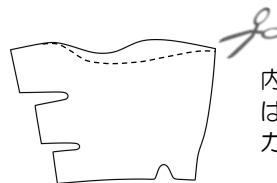
大腿部の付け根を確認して、圧迫しているところをハサミで裁断します。

特に大腿の前後、内側がきつくないかを確認してください。

また、オスの場合はペニスや陰囊、メスの場合は陰門を確認して、装具によって圧迫されているようであれば、ハサミでカットして下さい。



圧迫具合を確認する

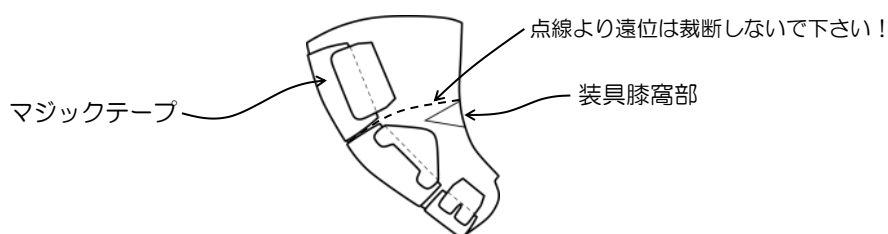


内股が当たっている場合は左図のようにハサミでカットします。

※ハサミでカットできない場所

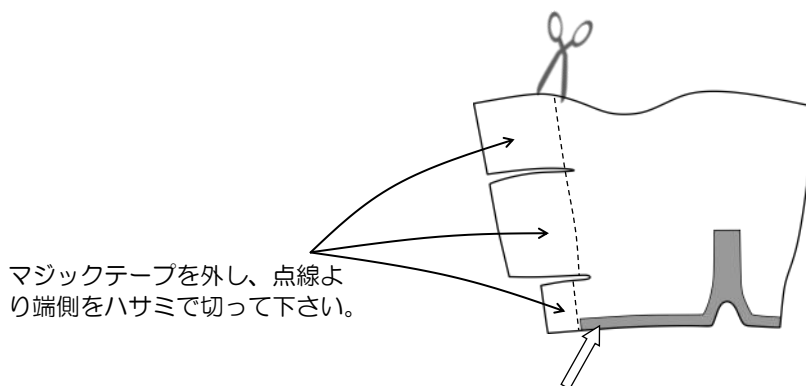
製品の構造上、ハサミで切れるところと、切れないところがあります。

ハサミで切れないところを裁断してしまうと、ほつれの原因になりますのでご注意ください。



3. 装具の周囲が長すぎる場合はハサミでカットする

大腿部や膝周りが足に対して装具が太すぎる場合は、締め込むマジックテープのバンド部分の3箇所をハサミで切ることができます。装具の下側のスポンジが入っている部分を切るとほつれてしまうため、切らないように気をつけてください。



遠位のスポンジが入っている部分は切らないで下さい！

起こりうるトラブルと対処

1. 擦れ傷・足先のむくみ

- 長時間の使用により、皮膚がふやけて擦れる場合。
対処1：綿製のストッキングネットを装着して様子を見るか、装着時間を減らす。
- 装具が足にフィットせず、足にぶつかっている場合。または極端に皮膚が弱い場合。
対処1：綿製のストッキングネットを装着して様子を見るか、装着時間を減らす。
対処2：装具の近位がぶつかっている場合、ハサミで切って創傷部を避ける。
対処3：装具が脱げない程度に緩く装着する。
- 足先がむくんでしまう場合
対処1：むくみの処置をした後、装具が脱げない程度に緩く装着する。

2. ブれたり、脱げる

- 装具の締め方が緩い
対処1：皮膚が擦れない程度にきつく装着する。
- 装具が足にフィットしていない。
対処1：4ページ目の「調整方法」に従って、装具の太さと長さを調整する。
対処2：既製品のため、足にフィットしない動物がいる場合があり、装着を諦める。

3. 装具が短い

- 選択した装具のサイズが小さい。
対処1：装具のサイズを大きいものに変更する。

4. 噛んで壊す

- 動物が慣れていない。または動物が暇になったときに、気にして噛んでしまう。
対処1：エリザベスカラーをしたり、初めの慣れない期間は人が見ている時に装着するなど、ギプスなどが噛まれないような処置をする。

5. 装具に動物が慣れない、または変な歩様をする

- 装着から時間が経っていない。または極端に装着時間が短い。
対処1：使用時間を増やして様子を見る。（1～2週間程度）
- 神経質な性格をしている。
対処1：慣れさせるために、使用時間を増やして様子を見る。
対処2：1ヶ月以上使用しても慣れない場合は、獣医師と相談して装着時間を減らすなどの対処をする。

使用上の注意（起きやすい問題）

動物によって個体差がありますが、主に「擦れ傷」「慣れない」「脱げる」に関するトラブルが起きやすいため、ご注意ください。

1. 擦れ傷

【毎日行うこと】・・・装具によって足に傷ができていないかを毎日チェックして下さい。

【術後の使用時】・・・術後に使う場合、長時間の使用となるため擦れ傷を創る場合があります。綿製のストッキングを履いてから装具をご利用になると擦れづらくなります。また、フィッティングは問題なくできていて、ストッキングを使ってもすれてしまう場合は、装着する時間を減らす対処が有効になります。

長時間使用する場合は、毎日傷の有無を確認して下さい。

【ご自宅での使用】・・・装具を装着したことによって歩様がよくなる場合がありますが、毎日の傷の確認は必ず行って下さい。長時間利用する場合は綿製のストッキングを装具の下に装着するか、利用時間を調整するなどで擦れ傷を創りづらくなります。

2. 慣れない

【装着直後の歩様】・・・装着直後や数日間は、動物が装具に慣れず、変わった歩き方になります。ほとんどの動物が快適な歩き方を自身で学習しますので、1～2週間は様子をみるとよいかもしれません。

【使用時間が少ない】・・・動物が慣れないために使用時間を極端に少なくすると、慣れる時間がなくなってしまいます。使用時間を増やして様子をみて下さい。

3. 脱げる

【緩い装着】・・・装具が脱げてしまう場合、踵骨に引っ掛る一番遠位のバンドを緩く留めている可能性があります。皮膚に擦れ傷ができない程度に強く締めて下さい。

●保証・初期不良

納品から1ヶ月以内に取扱説明書のご利用方法で故障した場合、修理・交換などを無償で行いますので、かかりつけの動物病院へご相談ください。

動物が噛んで壊したときも修理できますが、1ヶ月以内であっても有償となります。

1ヶ月以上経っての故障は、有償で修理いたします。

修理の際は、動物病院から弊社までお電話いただき、お見積りを組んで修理いたします。

また、その際にかかる送料は飼主様のご負担でお願いいたします。

●保管方法

直射日光を避けて管理して下さい。

●洗濯方法

手洗いで洗濯していただき、直射日光を避け陰干して下さい。

また、洗濯用洗剤を使うと効果的に汚れが落ちます。

東洋装具医療器具製作所
住所：(194-0038) 東京都町田市根岸2-26-40 TEL：042-793-1002